

あぶたんつうしん 118号

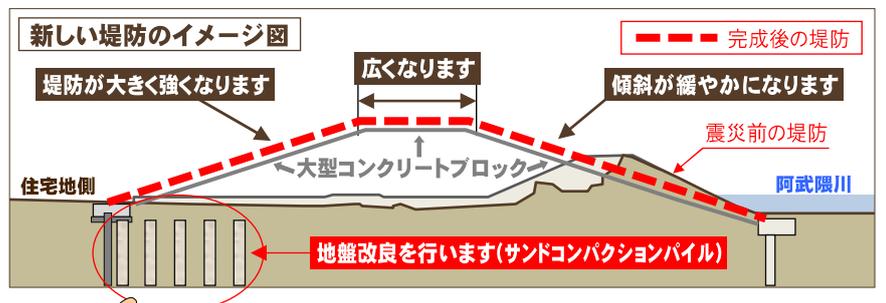
岩沼出張所

管内工事の進ちょく状況について【堤防災害復旧工事 編】

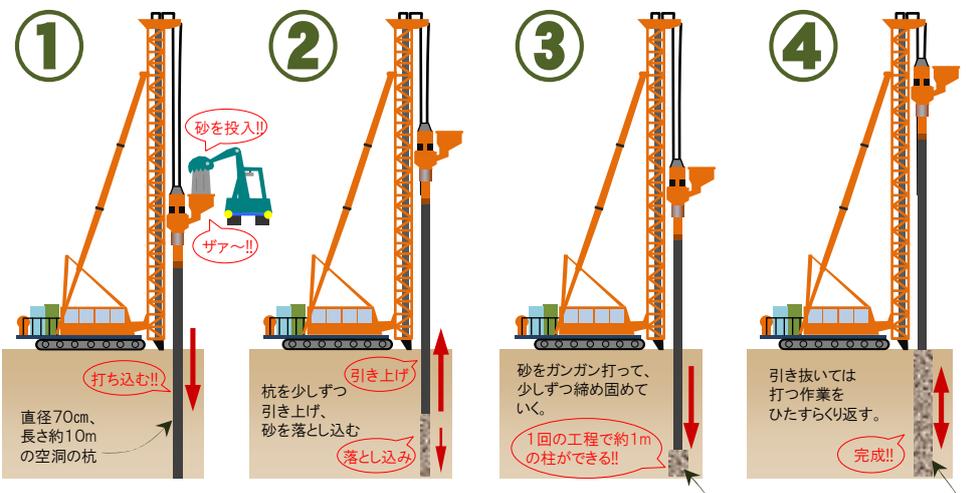
阿武隈川下流 堤防災害復旧工事



岩沼出張所では、阿武隈川河口部の堤防約2.2kmを対象に、約3年かけて堤防本復旧工事を行います。現在は堤防を築く前の地盤改良作業を行っている段階で、「**サンドコンパクションパイル**」とよばれる砂のできた杭を地中に打ち込んでいます。砂のできた杭!? と驚かれるかもしれませんがね。「サンドコンパクションパイル」は液状化しやすい地盤を強く締め固め、地震の際にも堤防などを壊れにくくすることができるんです。今回は、この工法についてご紹介していきたいと思います！



サンドコンパクションパイル工法の概要



中が空洞の杭を、圧力を加えながら強く振動させて打ち込み、杭の空洞部分に砂を注入していく。

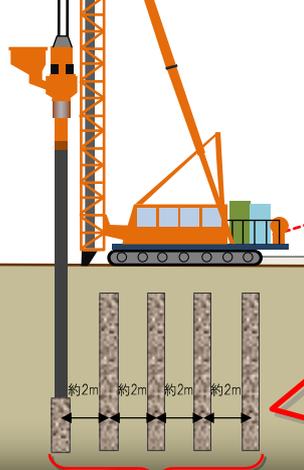
杭だけを少しずつ引き上げ、引き上げて開いた穴に、砂を落とし込んでいく。

出て来た砂を上から何度も打って締め固め、少しずつ地中に柱を造っていく。

この作業をくり返し、地中に頑丈な柱を完成させる。同時に、柱の周囲の土も強固になり、地盤改良がほどこされる。

最初は40cmだった直径が上からギュッと圧縮されて70cmにまで太くなる!!

直径70cm、長さ約10mの頑丈な砂柱が完成!!



新しくできる堤防

サンドコンパクションパイルを液状化しやすい箇所に約2m間隔で打ち込んでいき、地震にも津波にも負けない強い堤防を造っていきます!!

